



「おおかわの会」を表彰

～ 生態系の保全など河川環境改善に貢献（手取川・梯川水濁協）～

- 手取川・梯川水質汚濁対策連絡協議会では、梯川の生態系の保全を図るため、手づくり魚道の設置、地域の子どもと一緒にした稚魚の放流、清掃や水質調査などを長年実施している「おおかわの会」を平成27年度優良団体として表彰します。

記

1. 日 時：平成28年5月9日（月） 16：20頃（約10分）
（当日は13：30～16：15まで「手取川・梯川大規模氾濫に関する減災対策協議会」及び「手取川・梯川・石川海岸水防連絡会総会」、「手取川・梯川水質汚濁対策連絡協議会委員会」の開催を予定しています。委員会終了後、表彰式を行いますので、前後する場合があります。）
2. 場 所：川北町文化センター 2階 大ホール
（住所・電話）能美郡川北町字老ッ屋174（川北町役場横）・TEL(076)277-1111
3. 主 催：手取川・梯川水質汚濁対策連絡協議会
4. 優良団体の表彰について：別紙参照

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
河川管理課長 金谷 孝雄
T e l : 076-264-9916（直通）
F A X : 076-233-9612

優良団体の表彰について

1. 表彰の目的

河川の美化、愛護、啓蒙等、水質汚濁対策の推進に関し、積極的に取り組んでいる団体及び個人等を表彰するもので、昭和62年に創設しこれを継続しています。

2. 表彰の理由

「おおかわの会」

- ・平成19年10月に設立。
- ・小松市西尾校下、金野校下、波佐谷校下の有志が集まり、郷谷川（梯川水系）を「魚が上れる川」、「魚が住める川」にするため、地域住民と協力しながら地元を流れる川が憩いの場となる事をめざして活動に取り組んでいる。
- ・活動内容は、川の水棲動物の生息調査や水質調査をはじめ、地域児童と一緒にサケやヤマメのふ化・育成・放流を実施している。川に戻ってきたサケなどが産卵のため上流に溯上できるよう手作りの魚道の設置も行っており、この成果もあって、平成25年には梯川上流において62年ぶりにアユの溯上が確認された。

【平成27年度の活動内容】

- アユの魚道設置（H27.5.13）、
 - 郷谷川・大杉谷川での県内水面職員との共同魚類調査（H27.9.15）、
 - 矢作古川頭首工簡易魚道設置見学（H27.10.22）、
 - サケの魚道設置（H27.10.29）、
 - 小学生によるヤマメの稚魚放流（H28.3.4）
- このほか、こまつ水郷2020 ネット、こまつ SATOYAMA 協議会との協働活動、地元地域への活動啓発に取り組んでいる。

- ・長年にわたって実施されている活動は、水生生物の生息環境の保全とともに梯川水系の景観美化や住民の環境美化意識の向上等に大きく貢献しており、他の模範となることから、表彰するものです。

活動の様子



小学生による稚魚放流



サケの魚道設置